



A.A.M.T

秋臨技 だより

第106号

第 106 号

発行所
〒010-0011 秋田市南通亀の町6-9
シティーガーデン南通I 101
TEL・FAX:018 (825) 2116
E-mail:aamt-01@comet.ocn.ne.jp
一般社団法人秋田県臨床検査技師会事務所

発行人 鎌田 雅人
編集主幹 渡辺 義孝
印刷所 石岡印刷所
秋田市手形十七流10-1
電話 018(884)4771

目次

新年のご挨拶 会長	1
第43回秋田県医学検査学会をふりかえって	2
第43回秋田県医学検査学会に参加して	3・4
職業紹介in大館 開催	4
秋田県表彰	5
事務所より・編集後記	5・6



新年のご挨拶

(一社) 秋田県臨床検査技師会 会長 鎌田 雅人

新年あけましておめでとうございます。毎年のことながら「この一年はどんな年であったろう…」と考えますが、昨年2021年は「耐えながら成長し続けた一年」と言えそうです。

昨年年明けと共に新型コロナウイルス感染症の流行はすさまじいものがありました。県内でもクラスターの発生、感染者の増加が見られ、更に変異型の感染力には恐怖を抱かざるを得ませんでした。そのような中、各施設内での臨床検査技師への要望・期待は大きく、COVID-19関連検査実施には十分に役割を果たしていただけたであろうと思っております。PCRは簡単な検査ではありません。新しい知識と技術の習得には多くの時間と労力を要したと推察され、その前向きな努力をしていただいた会員の皆様には心より感謝いたします。

昨年の技師会活動は、WEB開催が主となりましたが各学術部門研修会・県学会を無事に開催することが出来ました。多部門にわたり気軽に参加する事が出来ると好評をいただいた反面、手技習得実施講習が出来無いなどの不安な面も有り今後の課題となりそうです。また残念ながら秋臨技創立70周年の祝賀会は延期とはなりましたが、これまで歩んできた軌跡に新たな形を記すことが出来たと思っております。

さて今年も年明けと共に来年度の役員改選に向けての準備が始まります。新たな役員で新年度のスタートとなりますがこれまで活動して来た内容は技師会として継続して取り組んでまいります。新たな大きな目標課題の一つとして業務のタスク・シフト/シェアがあります。医師の働き方改革に関連し法令等の改正により行われ、そのための座学研修・実技研修と多くの研修時間が必須となるわけですが、我々にとっては業務拡大が進み要望に応える事で社会的な役割も大きくなる事に繋がります。技師会としましても多くの会員がタスク・シフト/シェアに対応できるように一生懸命バックアップをしてまいりますので、会員の皆様も一段のご協力をいただけますようお願いいたします。

文末とはなりましたが今年の皆様の更なるご活躍を祈念し初春のご挨拶といたします。

第43回秋田県医学検査学会をふりかえって

実行委員長
高橋 雅之



昨年度新型コロナウイルス感染拡大のため、延期を余儀なくされた第43回秋田県医学検査学会が、令和3年10月16日大仙市のグランドパレス川端にて開催することができました。今年度も新型コロナウイルス感染の状況から、16日午後半日だけの開催となりましたが、感染防止に十分に留意した上で、学会実行委員や演題発表者、各施設から数名程度の会員の方々に現地参加していただき開催しました。現地参加できない会員の皆様には、Zoomでのオンライン配信参加をお願いさせていただきました。秋田県医学検査学会をオンライン配信で開催したのは初めての事であり、事前の準備や当日の企画運営などには大曲厚生医療センターの皆様にご難儀をおかけしました。あらためてこの場をお借りして厚く御礼、感謝申し上げます。

今回は半日での開催のため、プログラムも少なめに、一般演題8題と教育公開講演2題とさせていただきます。一般演題では、多方面にわたり様々な分野で検討、解析されたものをご発表いただきました。一例を申せば、心エコーでの遠隔解析やCovid-19の検査成績検討、梅毒検査での結果成績の乖離など、とても興味深い内容のものでした。また1演題の発表時間が10分と比較的余裕もあったため、ゆっくりと聴講し、ディスカッションすることができ大変勉強になりました。

教育公開講演は、大曲厚生医療センター院長 三浦雅人先生から「B型肝炎再活性化に対する当院の取り組み」と題して、B型肝炎が再燃した際の治療の難しさや、早めに再燃を見つけ出すチーム医療での取り組みなどについてお話いただきました。今なおB型肝炎で苦しんでいる患者様も少なくなく、また白血病などの血液疾患に使われる治療薬が肝炎再燃のきっかけになることなど、貴重なお話を拝聴しました。

もう一つの講演は、秋田今野商店代表取締役社長で農学博士の今野宏先生から「麴、その古くてあたらしいもの」と題し、麴菌やカビの不思議な世界についてお話いただきました。麴菌やカビは発酵文化として現代の社会生活において不可欠なものになっています。これらを使った発酵食品は、栄養価も高く、体に良いものであることは皆様すでにご承知のとおりで、そのおおもとの菌の「種」を販売している会社が今野商店であり、より良い菌、カビ、麴を作ることを目指している会社であることを知りました。このような素晴らしい会社が秋田県にあることを誇りに感じながら大変興味深く拝聴させていただきました。

今回の学会は、「臨床検査」～更なる可能性を探る～をテーマとして開催させていただきました。新型コロナウイルス感染症は、ある面では「臨床検査」という存在を社会に知らしめた事例となりました。今後の「With コロナ」「After コロナ」の時代にあっても、「臨床検査」という仕事がますますクローズアップされてくることが期待されます。その時には我々臨床検査技師は胸をはって検査業務に携われるよう、今後益々の精進を重ねていく必要があると感じています。皆様共にごがんばりましょう。

県学会に参加して



かづの厚生病院
阿部雄大



コロナ禍の中、秋田県医学検査学会における初めてのハイブリット開催形式(web+現地)で現地の大曲市に参加してきました。

一般演題は、8題で大変興味深い症例等や新しい知識を得ることができ勉強になりました。

教育公開講演Iは大曲厚生医療センター 院長 三浦 雅人先生が「B型肝炎再活性化に対する当院の取り組み」と題して講演されました。チーム医療によるB型肝炎の取り組みは自施設の今後の参考にしたいと思いました。

教育公開講演IIは秋田今野商店 代表取締役 今野 宏先生が「麴・その古くて新しいもの」と題して講演されました。麴の力としてお味噌汁を毎日飲んでる人は飲んでない人より癌になりにくいというデータは貴重なお話でした。

来年度は平成24年以来の2度目の大館市開催となります。コロナ禍で先の見えない状況ですが、このような状況だからこそ新しい学会のあり方が問われており、いろいろな可能性を探りながら学会を開催していきたいと考えております。

会員の皆様、ぜひ、大館に足を運んでいただくようよろしくお願いいたします。

県学会に参加して



由利組合総合病院
柳原圭吾



学会発表としては2回目、秋田県医学検査学会としては初めて一般演題で発表させていただきました。2回目で未だ慣れない発表の雰囲気戸惑いながらも無事に終わることができました。私の発表した“外注検査先と梅毒抗体検査結果が乖離した1例”は臨床からの問い合わせが多く、対応していた期間は不安の日々でした。外注検査会社や試薬メーカーに助けられながら原因究明に至りましたが、関わって下さったたくさんの方々には感謝してもし切れません。検査の信頼性を裏付ける日々の精度管理の大切さを再認識させられると共に、貴重な1例を経験することが出来て大変勉強になりました。

今回の学会は残念ながら規模縮小となってしまう一般演題数も少なくなってしまうしましたが、他施設の演題発表ではHbA1cの運用方法や当院で実施していない検査項目の検討など今後の参考になる内容を聞くことが出来ました。

様々な事象が発生した際、迅速かつ精確な対応が出来るよう、今後とも学会に積極的に参加し、自己研鑽に励みたいと思います。

県学会に参加して (Web参加の立場から)

秋田赤十字病院検査部
鎌田 葉月



10月16日に秋田県医学検査学会が開催され、私はZoomでのLive配信に参加しました。Live配信の学会に参加するのは初めてで、どのような形なのか分からなかったのですが、発表者と発表スライドだけでなく、時々会場内を映すカメラから現地の雰囲気が伝わってきて良かったです。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため多くの研修会や学会がオンラインで参加できるようになりました。現地参加していた時は演題発表について周りの人と議論をしたり、情報交換会で美味しい食事をとりながら親睦を深めたりする楽しさがありました。今回は感染対策のため、現地で参加できず残念に思います。オンライン開催の学会は自宅から参加できるので、移動時間や交通費を考えずに気軽に参加出来るようになりました。また、オンデマンド配信の学会は自分の都合の良い時間に見ることができたり、興味のある発表をどれでも見ることができたりして便利だと思います。

現地参加とオンライン参加の双方に利点と欠点があります。Webの環境が整備されてきたので、新型コロナウイルスの感染が収束し、以前のように各種研修会が開催できるようになっても、現地かオンラインか選べる形式が続いてくれたら、参加できる学会や研修会が増えるので嬉しいです。

最後になりますが学会の開催にあたり、ご尽力いただきました皆様に感謝申し上げます。



「職業紹介in大館」を開催して 県北支部支部長 川上 登(かづの厚生病院)

例年開催されている「検査と健康展」は、昨年度は新型コロナウイルス感染拡大により中止となりましたが、今年度は県北支部担当で11月23日イオンスーパーセンター大館店にて、規模を縮小し「職業紹介in大館」として開催しました。未だコロナ禍にあることから、スタッフは県北支部役員10名で対応しました。

開催内容は、①ポスター展示：臨床検査技師の仕事内容の詳細について紹介、②認知症予防啓発ポスター掲示、③職業体験コーナー：顕微鏡で癌細胞を見るコーナー、頸部の血管を診てもらおう超音波検査コーナー、④世界エイズデー啓発物の配付、⑤進学相談コーナー、⑥機器、パネル展示(株式会社エヌピーエス)：PCR検査装置、PCR検査について、でした。

展示ブースには、子供から高齢者までの約80名の市民の方々が次々と訪れ、大変盛況でした。また、今回は、特に宣伝活動に力を入れ、事前に県北の10校の高校に案内文書・ポスターを送付し、当日は鹿角市・能代市などからも学校の先生からの勧めで来られた親子もおり、進学相談は7組に対応しました。また、地元の北鹿新聞、秋田魁新聞に記事が掲載され県民・市民の方々に、臨床検査技師という職業と我々の公益活動の一部を、大いにアピール出来たと思っています。

本イベントを開催してみて、意外と臨床検査技師を目指している中高生が居ること、臨床検査技師を意識されている保護者様も居ることを実感できました。今後は、今回の職業体験コーナーをもう少しグレードアップさせて、色々体験して頂くのも必要と思いますし、将来臨床検査技師を目指している方々の受け皿になるようなイベントになることを期待しています。



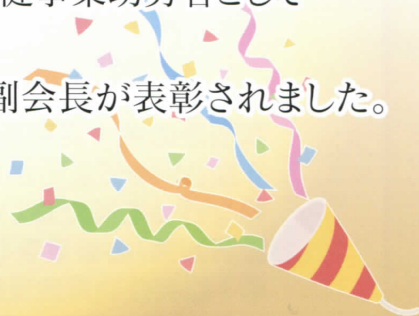
令和3年度 秋田県環境・保健事業功労者表彰



令和3年度秋田県環境・保健事業功労者として

当会の**佐藤 多佳子**副会長が表彰されました。

おめでとうございます。



事務局より

いよいよタスク・シフト/シェア講習会が始まります。
他県ではすでに実施している地域もありますが、秋田県でも第1回目の講習会の日程が決定いたしました。
先日会員の皆様にお知らせいたしました、周知のため掲載いたしますので、ご確認下さい。

タスク・シフト/シェアに関する 厚生労働大臣指定講習について

1 基礎講習(Web)について(合計700分) 無料

会員個人で日臨技ホームページより申し込んでください。
動画コンテンツを最後まで視聴後、確認試験に合格することで次のコンテンツ動画視聴が可能となります。全部で8項目700分です。

2 実技講習について

基礎講習を履修完了した場合のみ実技講習を申し込むことが可能です。
1回あたりの募集人数は最大60名ですが、随時調整しながら開催する予定です。
今後、年度で2回の実技講習会を予定し、令和7年度末までに10回程度開催する方針です。

3 秋田県における第1回実技講習会のご案内

日 時：令和4年2月27日(日) 9:30～17:30(9:00～9:30受付)
募集人数：最大60名 (各施設5名までの募集といたします)
場 所：日本赤十字秋田看護大学 102講義室・103講義室・152講義室
秋田市上北手猿田字苗代沢17番地3
TEL 018-829-4000

秋田県の第1回実技講習会の「日臨技システムでの行事登録」は未設定ですが、Webによる基礎講習は受講できますので、申し込みにより動画の視聴を行ってください。実技の講師が決定次第に指定講習システム内に「実技講習会」の設定をします。設定次第に再度会員に連絡する予定ですので、第1回実技講習会受講希望者は基礎講習の受講を直ちに開始してください。

なお、第1回目の実技講習会には参加申し込みをしない会員であっても基礎講習の受講を積極的に開始するようにお願いいたします。

4 受講料

基礎講習：無料

実技講習：日臨技会員15,000円 日臨技非会員 40,000円

基礎講習を履修することで実技講習への参加申し込みが可能となります。また実技講習受講の申し込みを行うことで、決められた期日までの受講料入金が可能となります。

クレジット決済は実技講習会開催日の10日前まで、払込票(コンビニ・郵便局)は20日前までとなります。

全て日臨技への支払い決済となり、システムから領収書の発行も可能となります。

5 その他

※すべての講習が厚生労働大臣指定講習会であり、実技講習会では欠席、遅参、早退、途中退席は一切認められておりませんのでご注意願います。実技講習会時の昼食はご自身でお持ち込みください。昼食時間は30分程度となります。

※詳細は日臨技ホームページの「タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会のご案内」を参照してください。

編集後記



寒中お見舞い申し上げます。皆様におかれましてはますますご壮健にてご活躍のことと存じます。今年度は秋田県医学検査学会、各種学会・研修会などの各種行事もコロナの影響でWeb開催が主なる一年となりました。来年度は状況に応じて有意義な形で開催できることを願っております。会員の皆様も体に気を付けて新たな一年を過ごして頂きたいと思っております。

(市立秋田総合病院 渡辺 義孝)